

令和2年度 大阪府立茨木西高等学校 第2回 学校運営協議会（記録概要）

日時 令和2年9月29日(火)午後3時30分から午後5時

場所 大阪府立茨木西高等学校 校長室

協議会委員：

・委嘱委員（敬称略）

会長	山本 稔	学校法人 三幸学園 校長
副会長	谷 郁夫	I Tコンサルタントふるもん
	鷺塚 誠	茨木市立西陵中学校 校長（欠席）
	山田 咲生子	代々木ゼミナール大阪南校（欠席）
	田原 正也	地域代表
	川端 保枝	保護者代表

・校内委員

校長、教頭、事務長、首席2名 ※記録：首席

進路指導主事、1年学年主任、2年学年主任、3年学年主任

開会に先立ち、配布資料の説明

1) 学校長挨拶

2) 運営協議会委員並びに事務局職員の自己紹介

3) 近況報告

- ・新型コロナウイルス感染症による休校中の課題郵送について
- ・分散登校中の学校の様子について
- ・校舎の階段修復工事の完了について
- ・オンライン授業、G-Suite について

4) 協議

①授業見学を振り返って

- ・校舎の工事も完了し、休校前の普通の状態を取り戻している。
- ・寝ている生徒もほとんどいなく、良くなっている。
- ・マスクを着用しているせいか、授業が静かだと感じた。

②令和2年度 学校経営計画 進捗状況について

（まず学校長より説明）

- ・めざす学校像、中期的目標の骨子は大きく変えていないが、数値目標をより詳しく盛り込んだ。

- ・授業規律は10年以上前から力を入れており、年々向上している。
- ・教育産業を利用した電子教材を1年生全員が利用している。
- ・自習室の利用者が増加している。
- ・10年目研修を受講している先生を中心に研究授業の活性化、バディシステムの活用を継続している。
- ・アクティブラーニングについて、対面授業での会話形式が難しい現状があり、状況を見ながらこれから本格化できればと考えている。
- ・オンライン授業は準備が整ってきたので、仮に再度休校措置が取られても、対応できそうである。
- ・中庭の美化運動を進めている。(池の整備、ベンチ制作など)
- ・例年近隣地域の行事に生徒会執行部や複数のクラブが参加しているが、今年度はコロナの影響でほとんどが中止となってしまっている。
- ・コロナ感染者が出た場合の偏見を未然に防止する取り組みを検討中。
- ・災害などによる安否確認時に、双方向の連絡体制ができる Google Classroom を追加している。
- ・体育祭を縮小して実施した。
- ・修学旅行は海外から国内に変更して実施する予定である。
- ・オーストラリアへの語学研修は中止、オンライン交流を計画中である。
- ・学校ホームページをスマホでもスムーズに閲覧できるようにリニューアルする予定である。
- ・教員の多忙感軽減を進めていきたい。

(運営協議会委員からの意見・質問)

- ・新型コロナ感染者への偏見防止について
生徒は高齢者に比べて新型コロナ感染症を軽視している傾向がある。
危機意識を持たせつつ、偏見が起きないように取り組んでほしい。
- ・Google Classroom について
双方向のやりとりができて、便利である。他の高校への拡がりも期待する。
- ・修学旅行について
(2年学年主任より) 国内への変更の経緯と現時点での工程を説明
(1年学年主任より) 来年度に関しては、海外修学旅行を考えているが
今年度中に下見に行けるかどうかなどで判断する。
(運営協議会委員より) ホテルの宿泊客が増え始めているので、修学旅行の
行先変更も大変になってきているのではないかと。
- ・学校経営計画の数値目標について
数値目標を達成することは大変なことだと思われるが、無理のないように。

- ・オンライン授業について

(運営協議会委員より) 生徒によってパソコンやスマートフォンの扱いに差が出るのではないか。

(校長より) 多くの生徒は問題なく使えている。データの使用量をどうするかが課題である。また、教員の端末操作や教材作成の力量に差が出てしまっているのも問題である。対面授業を続けながらオンライン教材を作るのも大変である。

- ・一斉休校期間中について

連絡や課題配送などの学校の対応が早くて感謝している。

③令和3年度 使用教科用図書の決定について

④その他

- ・オープンスクールを先日ようやく開催できた。これからより茨木西高校をアピールしていきたい。
- ・オンライン授業で使用する Google Classroom の機能を普段の学校生活でも活用していきたい。
- ・授業動画の作成の難しさを youtube の再生回数の少なさから身に染みた。
- ・コロナ感染者が出たときの対応を考えていく必要がある。
- ・2年生では休校になってすぐに Google フォームの機能を使って生徒とのコミュニケーションを取った。会わなくても生徒の様子を知ることができた。
- ・3年としては「遅刻を減らす」をテーマに取り組んでいる。現時点で進路が決定している生徒と、がんばっている最中の生徒がいる状況を踏まえて、卒業まで指導を継続していきたい。

5) 連絡

- ・今後の日程について

第3回学校運営協議会 令和3年2月17日(水) 予定